

現在、本校は『アクションプラン M'2020』に基づき学校経営を進めています。本校では 2013 年以來、教職員による自己評価と地域の有識者(地域の有力企業・金融機関の経営陣)による外部評価の二重チェックを実施しており、次年度の改善に取り組んでいます。本年も 6 月 17 日、外部の有識者を招き活動報告を行い、以下のような評価を頂きましたので報告いたします。

〈アクションプラン評価委員会委員〉

- ・委員長 志賀 弘典 元日立セメント株式会社専務取締役
- ・副委員長 水庭 正勝 元日立福利サービス取締役営業部長
- ・委員 奈須野 裕司 株式会社日立ライフ常務取締役管理本部長
- ・委員 大山 敬次 株式会社常陽銀行本店執行役
- ・委員 左子 幸治 株式会社 JWAY 代表取締役社長

アクションプランM' 2020有識者による外部評価 (2019年度全日課程)

2019年度評価表		予測・目標	現状	評価	
経営目標	生徒数	全校生徒数	1年 360(域外50)名以上 総生徒数 1,080名(平成30年度目標)	1年 353(域外82)名 総生徒数1,042名	4
		1年生徒数	360名(平成30年度目標)	353名	4
		1年ST・Sクラス数	ST:2 S:2(平成30年度目標)	ST:2 S:2 120名(54・54名)	4
		1年A・Bクラス数	A:6(平成30年度目標)	A:6 245名	4
	奨学生	1年学業奨学生	SA以上70名(平成30年度目標)	SA以上90名(STコース54名)	4
		1年スポーツ奨学生	スポーツI種 30名(平成30年度目標)	I種 28名	3
施設	普通教室のICT環境ステージ2段階の整備、高萩キャンパスの利活用と行内外の美化、理科室備品の整備		理科備品300万円を購入	4	
教育目標	模試(1年)	ST・S 平均偏差値(進研模試)	ST 60以上 S 54以上	ST:54 S:43 前年度ST:54 S:45	3
		ST・S 偏差値50以上(進研模試)	ST 100% S 60%	ST:80% S:9% 前年度ST:80% S:20%	2
		A 平均偏差値(進路マップ)	A 50 以上	A:42 前年度A:41	2
		A 偏差値60以上(進路マップ)	A 20名	A:1 前年度A:0	2
	進路	国公立大学合格者数	計90名以上	計49名 前年度79名	2
			ST 国公立70名以上	ST:40名 前年度63名 茨大14名 前年度14名	2
			S 茨大5名以上、公立大10名以上	S:茨大0名 公立大3名 前年度茨大2名 公立大2名	3
		A:国公立5名以上	A:5名 前年度3名 Aコースから初の慶応義塾大学合格者1名	4	
	A・B 大学進学率	A 70%以上 B 40%以上	A:70.2%(初めて70%を超える) B:34.2% 前年度A:65.8% B:35.9%	4	
	国際交流	ST・S 修学旅行	語学研修型海外修学旅行	カナダ修学旅行(2018.12.5~11)	5
		A 修学旅行	体験型海外修学旅行	新型コロナにより延期(2020年9月に国内に変更して実施予定)	-
		国際交流	オーストラリア短期語学留学(12名)、ハワイ交換留学(1名)、バーンサイド高校交換留学(3名)、リシクル高校交換留学(5名)	オーストラリア短期語学留学(10名)、ハワイ交換留学(新型コロナにより中止)、バーンサイド高校交換留学(3名)、リシクル高校交換留学(4名)	4
	特別活動	インターハイ等	団体で3部以上出場	女子バスケットボール部と男子卓球部の2部が出場(陸上個人女子円盤投げで1名出場)、女子ゴルフ部3年連続全国大会出場、男子ゴルフ生徒初の全国大会出場	5
		甲子園・国立	甲子園・国立出場	第98回全国高等学校サッカー選手権大会出場(3年連続)	4
		吹奏楽	東関東吹奏楽コンクールA部門出場	茨城県吹奏楽コンクールA部門金賞受賞により、初の東関東大会出場	4
地域貢献		吹奏楽部・ダンス部の地域貢献活動、日本を美しくする会の理念を推進	よかっぺまつり(9.7)、国体開会式式典演技(9.28)、百年塾フェスタ(10.20)、日立市産業祭(11.9)、高萩市産業祭(11.16)他多数の地域行事に参加、掃除に学ぶ会(11.3)	5	
部・同好会		文化部入部率30%以上	文化部78名・7%	2	
中退	全	25名以下	27名(2.6%) 昨年度28名(2.6%)	3	
	1年 ST・S中退数	ST 0名 S 2名以下	ST 0名 S 2名 昨年度ST 0名 S 2名	4	
	1年 A中退数	A 7名以下	A 9名 昨年度A 10名	3	
教職員	シラバス	シラバスの改善、教科会の実施(月1回以上、年10回以上)	年度当初にシラバス作成、定期考査前後などに各教科で実施(回数は未把握)	3	
	研修	校内研修の充実、初任者私学関東地区研修(2人)、日本私学研修所で中堅1人	春のICT推進研修(4.3)、電子図書館の使い方・「アクティブ・ラーニングって何?」からはじめる授業改善・あなたが「なりたい教師」になるための自己評価(6.13,28)、HyperQu・いじめについての研修(7.9)、「Most Likely to Succeed」(映画を観ながら、教育の在り方について考える 12.7)、日常授業で活用できるICT活用(3.6)、年間通じて初任者研修、初任者私学関東地区研修(1人)、日本私学研修所(1人)	4	

【評価の目安】5:十分達成できている 4:達成できている 3:概ね達成できている 2:不十分である 1:達成できていない

総合評価

3.5

アクションプランM'2020有識者による外部評価（2019年度通信制課程）

		令和元年度目標	現状（括弧内％は目標達成率）	評価	
経営目標	生徒数	年度末在籍生徒数 （桜徳高等学園除く）	670名	730名 ※桜徳9名含む739名が総在籍生徒数 ※9月卒業11名・中途転学1名・中途退学4名を含めると年度内在籍総数755名（112.7%）	4.3
		日立C在籍生徒数	175名	157名（89.7%）	
		水戸C在籍生徒数	225名	271名（120.4%）	
		下館C在籍生徒数	120名	103名（85.8%）	
		宇都宮C在籍生徒数	150名	199名（132.7%）	
	生徒募集	栃木県における生徒拡充	学校説明会新規実施 キャンパス拡充	栃木県高等学校進学フェア2019に初参加（9.16） 本校主催の中学校教員対象説明会実施（10.25） 下館地域の高1生徒減および古河周辺の生徒獲得の観点から、小山C開校に向けた調査・検討実施。同時に宇都宮市内に第2キャンパス開校の可能性を模索、現在は後者の方向で調査・検討中。	4.3
		スクーリング施設拡充	栃木県内でのスクーリング施設獲得	令和2年度より宇都宮大学峰キャンパスで実施予定。そのため高萩Cにおける宿泊スクーリングの検討は一時中止。	3.7
		ホームページ	スマホ対応（レスポンス化）	アクセス端末の画面サイズに応じて表示を変えるレスポンスデザインに全面リニューアル。	4.7
		年間資料請求数	243件（前年度比110%）	408件（167.9%）	4.3
		教職員ブログ	全教職員がブログ配信	全教職員のブログを立ち上げたが更新頻度が低く、令和2年度より週ごとのリレー方式を採用して更新頻度向上を目指す。	2.7
その他	見学者入学率	77%（前年度比103%）	68.3%（88.7%）	2.7	
	他校通信制との連携	他校通信制との連携による特別活動等の模索	翔陽学園・わせがく高校との連携による進路ガイダンスを実施。	3.3	
教育目標	カリキュラム	学校設定科目	学校設定科目導入	ゼミ学習12講座を実験的に開講。受講者のアンケート等をもとに実施内容の精査・拡充を行うことで、令和3年度以降の学校設定科目申請に目標修正。また、日立Cにおいてはケニア出身のカウチ先生による英会話講座を隔週実施。	4
		ICTツール活用	Classi・すららネット導入検討	Classiは実験的に教職員に導入。生徒・保護者との連絡用・学習促進ツールとして以外に、生徒個人カルテや全日制との連携など活用方法を各自が模索中。すららネットについてはICTツールの活用方法・人材育成に係る教職員研修を年2回実施。令和2年度より教育振興会費支出で各キャンパス10～20ライセンスの導入を決定。	3
	特別活動	スマイルサポーター活動	サポーター拡充 年1回実施のサポーター研修拡充	81名（137%） 年2回（8.29・2.13）実施。内容も「挨拶・マナー」等のサポーターとしての基本的なことから、オープンキャンパス・スマイルデーの企画、「いじめ問題」について考えさせるなど拡充した。	4.3
		ボランティア活動	茨城国体ボランティア参加	18名参加	3.7
		H R 活動の充実	薬物乱用防止等の取組み実施	薬物乱用防止講話、スマホ講話のほか、新たに消費者教育推進講話を実施。	3.7
		部活動	全国大会出場2部以上	女子卓球部・男子卓球部・男子柔道部・男子陸上部が全国大会出場。女子卓球シングルスは全国準優勝。	4.7
		生徒生活体験発表	校内予選参加者7名	6名参加、うち2名が県大会出場	3.7
	進路	難関大合格	経常費補助金特別に係る合格1名以上	茨城大学1名。国公立大は他に福島大・釧路公立大の2名合格。	4.3
		進路ガイダンス	従来の業者によるガイダンス以外に、本校独自の進路指導部主催ガイダンスの実施	年間3回（10.3・10.7・11.28）実施。他に業者と連携したガイダンスを年間8回実施。	4.3
		大学入試改革への対応	ポートフォリオ導入	進路指導部作成のポートフォリオ（紙媒体）を実験導入。同時に各種ICTツールも検討し、令和2年度からはClassi導入。	3
卒業率	卒業率および満足度調査	卒業率100%・生徒および保護者の満足度向上	96.6% 生徒および保護者の卒業時満足度調査については満足度をより正確に把握するために実施項目・回収方法を変更したため、前年度との数値的な比較ができず。	3.3	

【評価の目安】 5：充分達成できている 4：達成できている 3：概ね達成できている 2：不十分である 1：達成できていない